

電話設備の更新に係る一般競争入札に対する質問書の回答

番号	質問	回答
1	「IP電話（ひかり電話等）が直収利用できること」とありますが今回設置する電話主装置に直接収容するひかり電話の種類、c h数を教えてください。	以下のとおりです。 ひかり電話の種類：ひかり電話オフィスA（エース） c h数：23ch
2	「停電時、通話を途切れされることなく非常用発電機の稼働まで（最大30分程度）バックアップ電源にて保持すること。」とありますがひかり電話用のONUのUPSを見込んでおく必要はありますか。	ひかり電話用のONUにUPSは必要です。
3	「スマートフォン接続回路8回路」とありますが実際に接続予定のスマートフォン台数、種類（OS）を教えてください。	将来的には8回路の接続（iOS又はAndroid端末）を予定していますが、納品段階ではiOS端末1台程度の接続を予定しています。
4	「システムの異常を早期に把握するため、アラーム表示機能を有すること。」とありますが事務室等に専用の警報盤を設置することを想定されていますでしょうか。	事務室等に専用の警報盤を設置することは想定していませんが、主装置本体にアラーム表示機能を有することが必要です。
5	デジタルコードレス電話機の基地局設置の件で通話路確保の要件は例えば1115学務課に基地局を設置する場合のCS通話数18台以上の記載は部屋内で同時通話18台以上が条件でしょうか。	機器仕様書3（2）に記載のとおり、 <u>当該室内</u> に指定通話路数以上の基地局を設置する必要があります。
6	無償対応の範囲についてご指示ください。 落雷故障による部品代、デジタルコードレス電話機の自然故障、落下による故障、主装置の停電用バッテリー等の消耗品費用も無償保守の範囲でしょうか。	保守範囲は主装置のみです。したがって、主装置の停電用バッテリー等の消耗品費用、主装置の落雷故障による部品代は無償保守の範囲とし、主装置以外の落雷故障による部品代、デジタルコードレス電話機の自然故障、落下による故障は有償保守です。 なお、主装置以外の無償保証期間は、物品の所有権移転の日から起算して1年間としますが、保証書等で1年を超える定めのある場合は、その期間によるものとします。

7	<p>スマートフォン接続回路は、携帯キャリアが提供するFMCサービスを利用されるという認識で相違ございませんでしょうか。</p> <p>また、上記に相違ないようであれば、ご使用される携帯キャリアについてご回答いただけますようお願いいたします。</p>	<p>携帯キャリアが提供するFMCサービスは利用せず、主装置の機能又は主装置に接続する機器の機能及びスマートフォンのアプリケーションによるものを想定しています。</p>
8	<p>別途配布資料 電話系統平面図</p> <p>一部の図面にPHSアンテナのプロットを確認しました。PHSアンテナは既存電話システムにてご使用されていますでしょうか。</p>	<p>図面に記載のあるPHSアンテナは既存電話システムにおいて使用していません。</p>